

この本の使い方

●例題・練習問題

文章中から答えを見つけれられる「分析・評価問題」と、文章中からは見つけられないが読んで考えるところから「推論問題」とが、思考のプロセスに沿って出題されています。



文章で書かれている内容が「要するに」どのようなものかを確認していきます。

「読む基本」

物語や説明文を読むときに役立つ視点を、学習していきます。

「思考・表現チャレンジ」

文章を読んで問題を解いたあとに、文章で書かれている内容を自分の言葉で表現する練習をします。

●言語事項

知識問題を解いて、言葉の力を身につけていきます。

●ホームワーク

「例題」「練習問題」で習得した読み方・考え方を使って一人で解いていきます。

●まとめの問題

単元1〜4で学習した内容が、総合的にもりこまれた問題です。

●学びを広げる

三年生で学んだ内容をもとに、読解力や思考力を深める問題です。四年生になる前に、ぜひ取り組んでみましょう。

もくじ

1	物語(1)	雨やどりはすべり台の下で	2
2	物語(2)	しっばいに かんぱい!	10
3	説明文(1)	人々と文化	18
4	説明文(2)	いろいろな生き物	26
	まとめの問題(1)		34
	まとめの問題(2)		36
	学びを広げる(1)	物語	38
	学びを広げる(2)	説明文	46
	学びを広げる(3)	説明文	54

1 雨やどりはすべり台の下で／熟語のでき方

例題

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

15

10

5



読む基本


- この文章を読むと、「ぼく」について、どのようなことがわかりますか。
- ア まもなく、ひっこすことになっている。
- イ さいきん、ひっこしてきたばかり。
- ウ さいきん、外国から帰ってきたばかり。
- エ まもなく、外国へ行くことになっている。

(1) 線①「ぼく」とありますが、このとき、ぼくはどこにいますか。あてはまる言葉を、一字と四字で書きぬきましょう。

アパートの 階の

(2) 線②「まえに住んでいたところのほうか……」とありますが、「……」には、どのような言葉がしよりりやくされていると、考えられますか。あてはまる言葉を、自分で考えて書きましょう。

まえに住んでいたところのほうか




このお話は、要するにどういいうお話でしたか。
このお話を読んで、自分の言葉で書いてみましょう。

(岡田淳「雨やどりはすべり台の下で」より 偕成社刊)

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

30
25
20



このお話は、要するにどういいうお話でしたか。
考えてみましょう。

□ (5) □にはどのような言葉があてはまりますか。

ア やっぱりきこえた

イ まえに住んでいたところのほうが…

ウ 気のせいだ

エ そんな、ばかな

□ (4) — 線④「すぐまえ二、三メートルくらいのところ」とありますが、そこはどのようなところですか。二字で書きぬきましょう。

□ (3) — 線③「気のせいだ」とありますが、何が気のせいだといのですか。

ア 男の声がしたこと。

イ 透明人間がいること。

ウ だれもないこと。

エ 自分がひとりであること。

□ (3) □

□ (4) □

□ (5) □

♠ 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。



練 れん

習 しゅう

問 もん

題 だい



著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(岡田淳「雨やどりはすべり台の下で」より 偕成社刊)

40 35 30 25

□(1) — 線①「あのひとがしゃべったんだろうか。じょうだんじゃない」とありますが、「ぼく」がそのように思ったのは、なぜですか。

ア 知らない人が、話しかけてくるわけないから。
 イ あのベンチから、声がとどくわけないから。
 ウ しゃべったのは、透明人間だから。
 エ 声が聞こえたのは、気のせいだったから。

□(2) — 線②「きこえるんだ」とありますが、このとき、「ぼく」はどのような気持ちでしたか。自分で考えて書きましよう。

□(3) — 線③「そのひと」は、「ぼく」に、**あ**いつ、**い**どこで、**う**何をするように言いましたか。次の文にあてはまる言葉を、**あ**は四字、**い**は七字、**う**は三字で書きぬきましょう。

あに、**い**で、**う**を見つけ、**う**で手すりをたたき、用意ができたと思ったら、**う**をふり、おわったら**う**をおいてかえる。

⑦

①

②

□(4) — 線④「ぼくはいくことにした」とありますが、このとき「ぼく」はどのような気持ちでしたか。

ア タクトがあるといいな。
 イ タクトがないといいな。
 ウ タクトはぜったいにあるはずだ。
 エ タクトはぜったいにはずだ。



思考・表現 ひょうげん **チャレンジ**

このお話は、要するにどういいうお話でしたか。「だれ」が「だれ」に「どうした」のかがわかるように、2〜3ページに書かれている「ぼく」の気持ちもふまえて書きましよう。



★ 熟語のでき方

ポイント

熟語：二つ以上の漢字がむすびついてできた言葉。

熟語のでき方には、次のようなものがあります。

(1) 同じ漢字を重ねたもの。

〔れい〕 人々……人＋人

国々……国＋国

(2) 似た意味をもつ漢字をむすびつけたもの。

〔れい〕 岩石……岩 || 石

身体……身 || 体

学習……学 (ぶ) || 習 (う)

(3) 反対の意味をもつ漢字をむすびつけたもの。

〔れい〕 東西……東 ↓ 西

左右……左 ↓ 右

強弱……強 (い) ↓ 弱 (い)

(4) 上から下につづけて読むと、意味がわかるもの。

〔れい〕 牛肉……牛 (の) 肉

休日……休 (む) 日

円形……円 (い) 形

(5) 下から上にもどって読むと、意味がわかるもの。

〔れい〕 入手……手 (に) 入 (れる)

帰国……国 (に) 帰 (る)

消火……火 (を) 消 (す)

1 次の熟語のでき方をあとのア～オから一つずつえらび、記号で答えましょう。

〔1〕 白紙 □ (2) 次々 □ (3) 乗車

〔4〕 土地 □ (5) 上下

ア 同じ漢字を重ねたもの。

イ 似た意味をもつ漢字をむすびつけたもの。

ウ 反対の意味をもつ漢字をむすびつけたもの。

エ 上から下につづけて読むと、意味がわかるもの。

オ 下から上にもどって読むと、意味がわかるもの。

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)

2 次の熟語とでき方が同じ熟語を、それぞれあとのア～ウから一つずつえらび、記号で答えましょう。

〔1〕 決心

ア 明暗 □ イ 絵本 □ ウ 習字

〔2〕 大小

ア 思考 □ イ 点々 □ ウ 前後

〔3〕 曲線

ア 住所 □ イ 天地 □ ウ 口々

- (1)
- (2)
- (3)

③ 次の(1)～(5)のでき方の熟語を、あとのア～カから二つずつえらび、記号で答えましょう。

- (1) 同じ漢字を重ねたもの。
- (2) 似た意味をもつ漢字をむすびつけたもの。
- (3) 反対の意味をもつ漢字をむすびつけたもの。
- (4) 上から下につづけて読むと、意味がわかるもの。
- (5) 下から上にもどって読むと、意味がわかるもの。

- ア 指名 し イ 出発 ぱつ ウ 外国 ぐわいこく エ 広々
- オ 売買 ばいばい カ 両手 りょうて キ 中央 ちゆうおう ク 苦楽 くらく
- ケ 入学 にがく コ 数々 かずかず

(4)

(1)

(5)

(2)

(3)

④ 次の漢字とにた意味の漢字をあとの□から一つずつえらんで□に書き入れて、熟語を作りましょう。

□(3) 通	□(1) 森
<input style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black; border-style: dashed;" type="text"/>	<input style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black; border-style: dashed;" type="text"/>
□(4) 田	□(2) 使 <small>し</small>
<input style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black; border-style: dashed;" type="text"/>	<input style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black; border-style: dashed;" type="text"/>

- 用
畑
林
行

⑤ 次の漢字と反対の意味の漢字を□に書き入れて、熟語を作しましょう。

□(3) 遠	□(1) 南
<input style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black; border-style: dashed;" type="text"/>	<input style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black; border-style: dashed;" type="text"/>
□(4) 多	□(2) 昼
<input style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black; border-style: dashed;" type="text"/>	<input style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black; border-style: dashed;" type="text"/>

⑥ ↓の方向につづけて読むと意味がわかる熟語になるように、次の□にあてはまる漢字を書きましょう。

(1) 車 ↑ □ ↓ 年

作 ← □ → 人

(2) 石 ↑ □ ↓ 声

人 ← □ → 犬

⑦ 次の意味の熟語を、□に書きましょう。

□(1) 品 <small>しな</small> を返 <small>かえ</small> す ↓	□(2) 場内に入る ↓	□(3) 学校に通う ↓	□(4) 名前を記す ↓
<input style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black; border-style: dashed;" type="text"/>	<input style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black; border-style: dashed;" type="text"/>	<input style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black; border-style: dashed;" type="text"/>	<input style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black; border-style: dashed;" type="text"/>



ホームワーク

雨やどりはすべり台のすべ

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20

15

10

5

□(1) 線①「ぼくはいくことにした」とありますが、「ぼく」は、「タクト」について、どのように考えていることがわかりますか。

ア タクトがあってほしい。

イ タクトはないほうがよい。

ウ タクトがあつたら、がっかりする。

エ タクトがあつてもなくても、どうでもよい。

□(2) 線②「わざとなにげないようすで」とありますが、

どのようなようすですか。

ア あわてているようす。

イ がっかりしているようす。

ウ だまされているふりをしているようす。

エ おちついていふりをしているようす。

□(3) 「ぼく」がしたことと、それによって起こったことを次のようにまとめました。あてはまる言葉を①は三字、②は四字、③は一字、④は四字で書きぬきましょう。

・ ①で手すりを
たく
↓
②の住人があらわれる

・ ③をふる
↓
④「花のワルツ」という
がはじまる

(岡田淳「雨やどりはすべり台の下で」より 偕成社刊)

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

45

40

35

30

25

言葉トレーニング

◎ 次の各組の中から、熟語のでき方が他とちがうものを一つえらび、記号で答えましょう。

- | | | | | | | | |
|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| □ (4) | ア 入学 | □ (3) | ア 黒板 | □ (2) | ア 親友 | □ (1) | ア 国々 |
| □ (1) | イ 入学 | □ (2) | イ 遠近 | □ (1) | イ 円形 | □ (4) | イ 数々 |
| □ (2) | ウ 進学 | □ (3) | ウ 天地 | □ (2) | ウ 絵本 | □ (1) | ウ 内外 |
| □ (3) | エ 休学 | □ (4) | エ 男女 | □ (3) | エ 土地 | □ (2) | エ 次々 |

□ (4) この場面で起こったことのおかげで、ぼくはどのような気持ちになりましたか。二十三字でさがし、はじめと終わりの三字を書きぬきましょう。

おいてかえる (あ) を	↓	ふつうのもの音や (え) にもどる
ふりがわる (あ) を	↓	みんなが拍手する